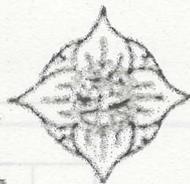


# 船田小だより

令和5年4月6日発行

No.1

八王子市立船田小学校

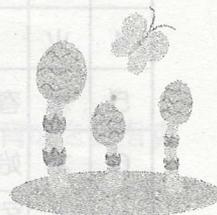


## 今の自分が好き

校長 平田 英一郎

桜が記録的に早く咲き始め、満開はとうに過ぎてしまいましたが、春爛漫の船田小学校です。

お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。今年は、54人の1年生が入学しました。全校児童316人12学級、特別支援教室やまほうしは41人が在籍し4人の先生方で指導を行います。



さて、校長の平田は全校朝会等の講話で毎年テーマを決めて話し、学校経営に当たっています。昨年は「一歩踏み出す」でしたし、一昨年は「やればできる」でした。今年は表題の「今の自分が好き！」を合言葉に教育を進めていきたいと考えています。

例えば、校庭でなわ跳びにチャレンジしている時、目標としていた技が練習を積み重ねた結果できたとしたら、間違いなく「がんばった今の自分が好き！」と思えるはずです。跳べるようにならないまでも「努力し続ける自分が好き！」で良いと思います。頑張っている友達を「応援できる自分が好き」もすてきですね。そのように、ちょっとしたことでも頑張った自分にごほうびをあげたくなるよう、自分の良さに気づきながら（学校やご家庭では気付かせながら）、素直に「今の自分が好き！」と思える子どもたちの育成に励んでいきます。

さらに、「自分が好き！」と言えるよう、自分に恥じないよう、外に誇れるよう、一人ひとりが「より良く考えて行動して欲しい」という願いもこもっています。

12人の担任を中心にまほうしの先生方が指導に入り、専科や管理職も指導に当たり、職員も教員も「チーム船田」で成長を後押ししていきます。

今年度は創立50周年の記念の年でもあります。小中一貫校である長房中学校とともに（式典等は別ですが）、50周年を祝っていきます。そして、最短2030年に予定されている長房地区の義務教育学校の開校に向けても様々議論を重ね「今考えられるベストの学校」を創り上げていきたいと思えます。

今年度も、集団を活かして社会性を育む指導とともに、その子にあった個別・最適な学びも目指します。保護者・地域と学校がしっかりと協力・連携して子どもたちの教育にあたっていきましょう！

ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

今年も、学運協の皆様と共に教育を進めていきます。

### <<学校運営協議会メンバーのご紹介（敬称略）>>

会長	宇田 友子（前12地区民生児童委員会会長）
副会長	井上 正芳（船田町会副会長）
委員	久保井博美（H30年度長房中PTA会長）
	大塚 英生（長房西保育園園長）
	久島 大茂（R1・2年度PTA会長）
	榎本 知子（学校コーディネーター）
	平田英一郎（本校校長）
顧問	森 秀三（前八王子市青少年対策長房地区委員会会長）

※ 宇田会長には4月の入学式にて開会の辞を述べていただきます。

# 学校からの連絡

## 令和5年度 学校経営計画(簡易版)

八王子市立船田小学校 校長 平田 英一郎

◎ 自己肯定感の育成を根底に、子どもたちが「今の自分が好き」とより思えるよう環境を整え、指導が行える学校を作っていきます。

※ 正式なものは保護者会の際にお配りします。HP にアップします。

### 1 教育目標

明るく豊かな心もち、生命を大切にし、人間を愛する教育を基盤とした子どもの育成を目指す

- 助け合える子
- ◎ 健康な子
- 深く考えやり通す子
- 進んで働く子

### 2 令和5年度の取組目標と方策(本年度の達成課題)

#### (1) 子どもたちが「学びたくなる学校」

- ① 特別な支援が必要な子どもたちへの指導・対応(学校サポーター等の活用)
- ② 分かる授業・落ち着いた学習を進める。(めあての明確化、船田タイムの活用)
- ③ 体力向上・保健指導・食育など、総合的に健康教育を推進することで、生涯にわたり心身ともに健康な生活を送るための基礎を培う。(体育的活動、検診時の保健指導、食育)
- ④ 交通事故0 いじめ0 不登校0 を目指す。  
(昨年度に引き続き不登校対策にも力を入れる。)
- ⑤ 縦割り班活動のさらなる充実を図る。年間を通して活動を行う。
- ⑥ 一人一台端末の有効活用を引き続き行っていく。

#### (2) 保護者が「通わせたい学校」

- ① 学級の荒れ0 体罰0 服務事故0
- ② 保護者からの苦情対応を的確に行う。
- ③ 国(6年)市(4~6年)各学力テストで、市の平均点以上を目指す。
- ④ 「タブレットが重く、持ち帰りが大変」対応を検討していく。

#### (3) 地域が「誇りにしたくなる学校」

- ① 学運協、町会・自治会等とのスムーズな連携を行う。
- ② 地域教材や人材の活用 子どもたちの生活に根ざした学習活動を取り入れる。
- ③ 地域から愛され「応援したくなる学校」を目指す。

#### (4) 教職員が「勤めたい学校」

- ① 働き方改革の一層の推進を行う。
- ② もしもの時のサポート体制がとれる学校。今まで以上に「チーム船田」を目指す。
- ③ 校内研究の充実。公開授業を見合う機会を設ける。  
見せ合い学び合い、共に成長し、共に達成感を味わい絆感が深められる学校。
- ④ 努力が報われ、すぐに結果は出なくとも「努力は裏切らない」と信じられる学校。

